

第26号

2023年11月



北・上京区版

連絡先

京都平和委員会

075-811-3203



立命館大学国際平和ミュージアム リニューアルオープン

9月23日に、立命館大学国際平和ミュージアムがリニューアルオープンしました。

立命館大学ピース・ネットワーク（立命館大学教職員組合が事務局となり、立命館に関わる平和と民主主義を愛する人たちが集まって、継続的に平和と民主主義の問題に取り組んでいこうと立ち上げた組織。立命平和の会代表も呼びかけ人に加わっています）は、立命館大学国際平和ミュージアム副館長の市井吉興産業社会学部教授を講師に、「国際平和ミュージアムのリニューアル展示の見どころ」と題して、公開学習会を開催しました。

オンラインで開催された学習会には、教職員だけではなく、OB や平和友の会の会員の方々、京都平和委員会の皆さんも参加されました。

お話は、立命館大学の国際平和ミュージアムの開館から今回の検討までの経過と、リニューアル後の展示についてでした。今回は年表の展示やテーマ展示について、問題意識を喚起する、展示を通じて来館した方に「なぜ」という問いを喚起し、事後の学習などを通じて、来館した方の主体的な学習につながるように工夫されたとのこと。また、「戦争」という事象を多角的に理解し、現代に向けた課題をくみ取ることができるような展示を目指したとのこと。パンフレットの表紙には「みて かんじて かんがえて その一歩をふみだそう」と書かれています。

質疑応答の中では、展示品が少なくなったのでは？ 小学生には難しすぎる、などのご意見も出されました。

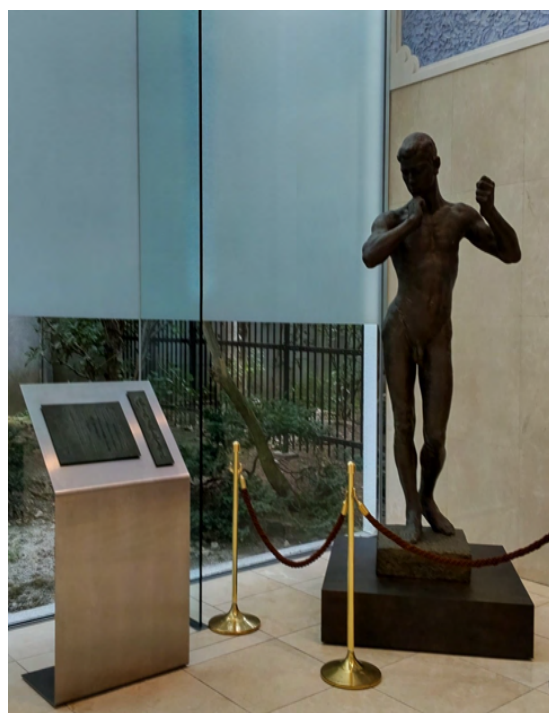
入り口を入ってすぐ左手に無言館の分室があります。こちらでもぜひご覧ください。

地下に降りていただくと壁に沿って年表展示があります。反対側にはテーマ展示がされています。展示のコーナーが終わると問いかけ広場があり、ここで見学者が振り返りを行うようになっています。

そして出口までの壁には「ことば回廊」。一番最後に末川先生のことばが刻まれています。

立命館大学の国際平和ミュージアムは、卒業生であれば無料で見学することができます。また卒業生1人につき概ね10名以下の団体であれば、無料で見学することができます。会員・読者の皆さんも卒業生と一緒に是非見学にお越しください。

残念ながら、展示物は撮影禁止なので、これまで通りの「火の鳥」と、展示場所を変えて設置された「わだつみ像」だけご紹介しておきます。



■立命館ピースネットワーク主催 11月の公開学習会のご案内■

どなたでもご参加いただける公開学習会の案内をいただきました。

開催日: 2023年11月7日(火)11:35~12:25

話題提供者: 徳川信治さん(法学部教員)

テーマ: 国際法からみたロシアのウクライナ侵攻

2022年2月に始まったウクライナへの軍事侵攻。プーチン露大統領はこれを「特別軍事作戦」と呼んで、「NATOの脅威」などいくつかの理由を挙げ、正当化しました。この正当化事由は日本でも一定の支持をもって語られることがあります。これらを国際法から見た場合、どのように考えられるのか、その一部を考えてみたいと思います。

参加申込方法: <https://questant.jp/q/23PEACE03>

- ① 上記 URL もしくは QR コードから参加申込
⇒ 申込締切 11/6 (月) 正午まで
- ② 6日午後 Zoom の参加 URL を送付
⇒ 申込時記載のメールアドレスに送付します

訃報

京都平和委員会の岡田英樹会長が10月18日に永眠されました。享年79歳。

療養中も、京都平和委員会の理事会には日本と世界の平和を巡る情勢と、今こそ平和委員会の頑張り時、とオンラインでメッセージを寄せられ、私たちに励まし続けてこられました。大変残念ですが、会長の遺志を引き継いで会員・読者の皆さんと一緒に平和運動を大きく発展させていきたいと思っております。



高谷光雄さんの個展が開催されました

高谷さんは政治や社会の変化を敏感に捉えた作品をつくっておられる染色作家さんです。今回のメインは「交響曲第9番『命』」です。左記の作品は「第三楽章『井蛙の見』」と題したものです。左の下の方にコップ（に見えますが説明が書かれていなかったのもので違うのかも）の中に入っている人が描かれています。

色彩の焔染めで書かれているそうです。交響曲シリーズのほかに、明るい色でアネモネが描かれ、母子が右端に書かれている「追憶」という作品や、実物大の「鬼灯」という作品もありました。個人的には「鬼灯」に見入ってしまいました。芸術で平和を訴えるというのも素敵です。

<編集後記>

太田啓子です。お久しぶりです。隔月刊になってしまってますみません。9月のことなので取り上げていませんが、増田正昭さん(被爆2世・3世の会)の個展にも行かせていただきました。被爆者や、2世の方々、ご自身のご両親のこと、お話を聞いて胸が詰まる思いでした。2月には広島で個展をされるそうです。平和への思いって、いろんな方法で伝えることができるんですね。さてここで予告。平和委員会主催の学習会をやりませう。12月2日の予定です。自衛隊強靱化計画で京都がどうなっているのかについて学習します。乞うご期待。最後に、京都平和委員会では青年学生部が様々な活動をしています。戦跡巡りや若者憲法集会への参加、京丹後市のXバンドレーダー基地の視察・学習会や、999人とあなたの気候マーチへの参加などです。楽しそうでしょうか? 平和に関心があるお子さんやお孫さんがおられましたら、是非ご紹介ください。いろいろなことを盛り込みすぎの編集後記になりました。情報をお寄せください。miyakowasure@hera.eonet.ne.jp